

定期通院患者の慢性疾患治療②

■定期検査はどうしておすすめるの？

定期受診の際に、医師や看護師より定期検査をおすすめされた経験はないでしょうか？この定期検査は以下の目的でおすすめています。

- ①その疾患の進行状況や、治療状況を確認する
- ②合併症を発見する
- ③薬の副作用をチェックする
- ④できるだけ手遅れのがんを出さない（早期発見・早期治療）



■定期検査の確認(誕生月チェック)について

みどり病院では、患者さんの誕生月に定期検査の実施状況を確認しています。上記目的に沿って、1年以上実施していない検査についてはおすすめています。前向きにご検討ください。

また、外来センターで渡されるファイルの中に「カルテ出庫表」という用紙が入ってい

ますが、その用紙の下部に定期検査の実施状況が印刷されていることをご存じでしょうか？1年以上定期検査を行っていない検査については、経過年数ごとに★が印字されるようになっています。是非受診時に用紙を確認頂き、★のある検査については、検査を医師にご相談ください。

■手遅れのがんを出さない為に

慢性疾患は、がんにかかるリスク、がんによる死亡リスクを増大させるとの研究報告があります。当院でも、がんの早期発見の為、定期通院患者の方々に対して、検査をおすすめています。

日本人の死亡原因の3分の1はがんであり、生涯でがん罹患する確率は約2分の1と言われています。日本人のがん罹患数上位3疾患は、「大腸がん」「胃がん」「肺がん」。これらのがんの検査は、1～2年の間隔で検査することで死亡率が減少するという科学的根拠が示されており、健康増進法に基づく市区町

村のがん検診の対象となっています。当院ではこれに加え、エコー検査による消化器系のがんの検査もおすすめています。

部位にもよりますが、1センチのがんが、2センチになるには、1年半～2年といわれています。また、1～2センチ程度の時期にがんが発見できれば多くのがんは完治します。しかし、早期のがんでは、症状はほぼありません。症状が出たら検査を受けるのではなく、症状がないうちに、1～2年に1回の定期的な検査が大事なのです。

慢性疾患委員会